

赤潮警報(第3報)

平成23年(2011年)8月26日
山口県水産振興課

広島湾及び大島水道で魚介類をへい死させる カレニア ミキモトイ が発生しています!

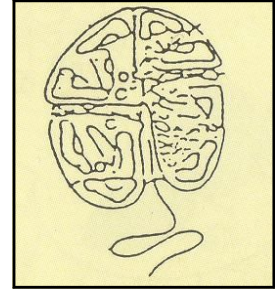
26日(金)の採水調査の結果では、赤潮警報密度以下でしたが、今後、増殖する可能性があることから、引き続き、警報(第3報)を発令します。

当初発生日: 平成23年8月22日(月)

現在発生海域: 広島湾及び大島水道

赤潮構成種: カレニア ミキモトイ (*Karenia mikimotoi*)
(好適水温 22~27°C、好適塩分 20~30psu)

着色海域の色: 暗褐色



大きさ 25~35 μm × 23~33 μm

調査結果:

調査場所	8月24日	8月26日
神代漁港	65,000 個/ml	8 個/ml
三浦漁港	20,000 個/ml	105 個/ml
由宇漁港	4,900 個/ml	117 個/ml
藤生漁港	2,050 個/ml	115 個/ml
相の浦漁港	1,800 個/ml	28 個/ml
県漁協柳井事業所前	733 個/ml	35 個/ml
下田漁港	700 個/ml	0 個/ml

※上記調査場所以外にも調査しています。(別紙)

■本種の赤潮では、以下の濃度が目安となっています。

●赤潮注意報密度 500個/ml ●赤潮警報密度(魚類へい死目安) 5,000個/ml

- 本種は過去、本県で最も大きな漁業被害が発生したプランクトンです。
- 本種は中層・底層を中心に増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返すことから、海面からの観察では海水の着色が判別しにくいプランクトンです。
- このため、海面が着色していなくても、魚介類のへい死を起こすことがありますので、十分に注意して下さい。
- 今後は、漁港内での漁獲物の蓄養は避けて、活け出荷等の対策を講じてください。また、養殖魚等は深い生け簀を活用し、赤潮発生時には代謝を抑えるために餌止めをし、早期出荷などの対策も検討してください。

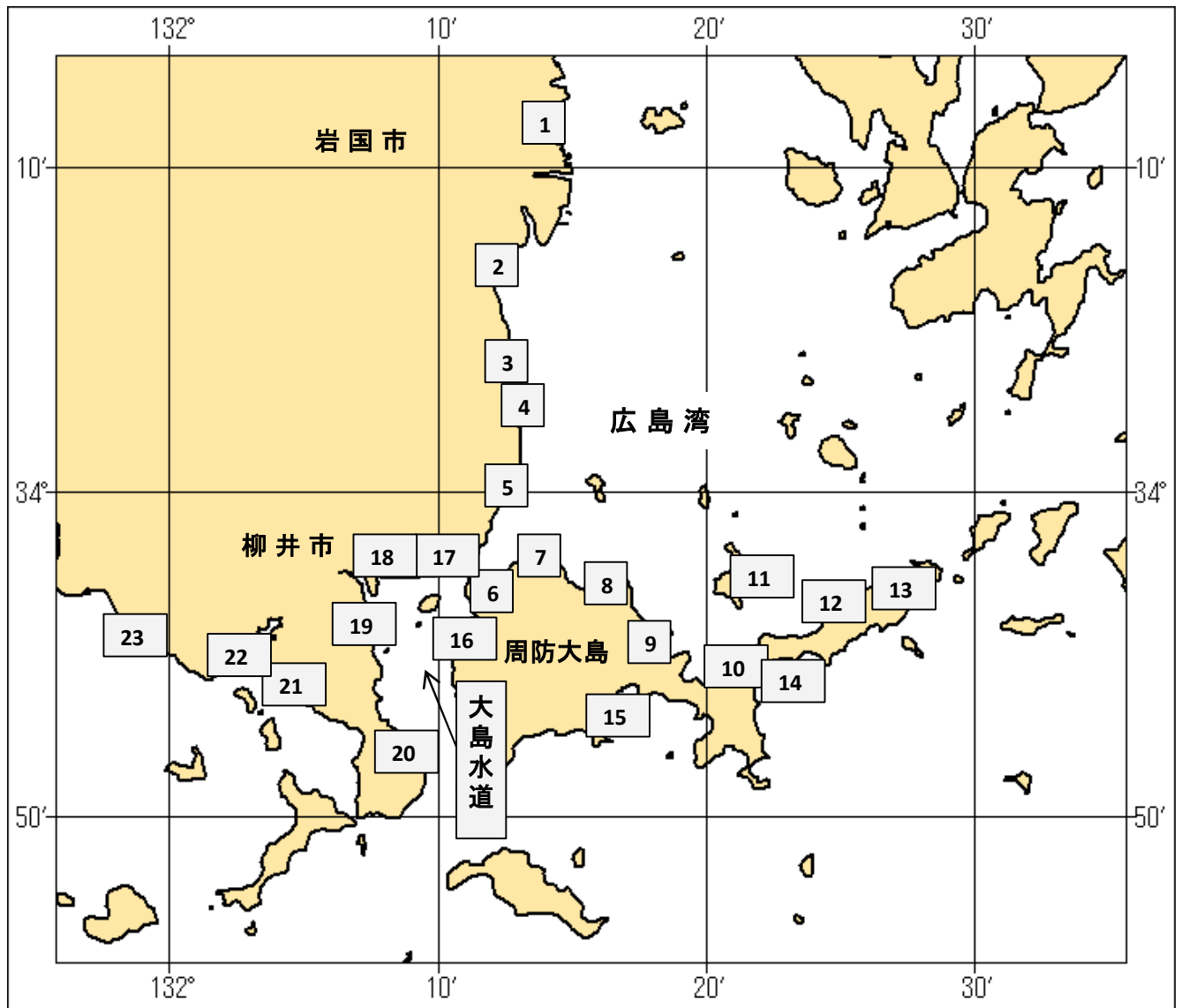
なお、県としましては、引き続き調査を実施して参りますので、赤潮の発生などが確認された場合は、漁協を通じて関係市町・水産事務所に速やかに通報してください。

* 県内の赤潮情報については、海鳴りネットワークのホームページでもご覧いただけます。

以下のアドレスにパソコンからアクセスして下さい。

→ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/suisan-s/uminari/9/index.htm>

赤潮警報(第3報)に係る赤潮プランクトン観測場所【参考図】



No.	調査場所	個/ml
1	岩国新港	2
2	藤生漁港	115
3	通津漁港	4
4	由宇漁港	117
5	神代漁港	8
6	三蒲漁港	105
7	棕野漁港	12
8	久賀漁港	24
9	日良居漁港	10
10	下田漁港	0
11	県漁協浮島支店前	0
12	和田漁港	1
13	県漁協東和町支店前	1
14	片添ヶ浜	0
15	県漁協安下庄支店前	0

No.	調査場所	個/ml
16	小松漁港	24
17	大島漁港	12
18	県漁協柳井事業所前	35
19	県漁協柳井支店前	150
20	相の浦漁港	28
21	県漁協平生町支店前	1
22	県漁協田布施支店前	0
23	県漁協光支店前	0

調査日 8月26日